

事業番号	10 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☒ 補正予算案	☐ 点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	
		実施期間	S48 ～	E-mail	ringyo @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・本県は、森林を育てる時代から利用する時代を迎え、主伐の推進や県産材供給体制の整備等により、素材生産活動が本格化しており、林業就業者の確保と育成が必要。

・林業就業者の雇用は、林業作業の季節性や事業主の経営基盤のぜい弱性により必ずしも安定しておらず、労働災害の発生率は全産業で最も高い。

2 事業目的

林業就業者の確保・育成を図るため、林業事業体の事業の合理化、雇用管理の改善等を推進するとともに、多様な人材の活用を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①新規就業者の確保と就業環境の改善
当初予算のとおりのとおり
- ②スマート林業の推進及びスマート林業を用いた問題解決
当初予算のとおりのとおり
- ③事業改善や経営改善、就業準備等に必要な資金の融資
・需要の高まりを受けて、設備導入等の資金を融資する林業・木材産業貸付金を増額
（当初予算：3件 → 9月補正後：5件）
※その他の事業は当初予算のとおりのとおり

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	移住又は他産業からの転職等による林業就業者数	人	64	88	↗	76	↘	77	新規に林業へ就業した移住者又は他産業からの転職者等の直近3年平均を基に目標を設定し、人材の育成・確保を目指す	
②	スマート林業技術を導入した事業体数（累計）	社	45	59	↗	68	↗	69	R5年度時点で約6割の事業体導入があるスマート林業技術について、R9年度までに約8割（約80者）の技術普及を目指す目標として設定	
③	改善資金の貸付件数	件	0	2	↗	3	↗	5	直近5年間の事業実績(平均1.5件)の約2倍の貸付件数を目標として設定（9月補正時点の申請見込数に目標値を修正）	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	中核的林業事業体数	事業体	2022 (R4)	51	2023 (R5)	56	2024 (R6)	61	2027 (R9)	66
2-3①	地域の建設業等における担手の確保の推進	新規林業就業者数	人/年	2022 (R4)	119	2023 (R5)	147	2024 (R6)	117	2027 (R9)	120
4-3①	働き方改革の推進と就労支援の強化										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 （予算現額）	うち一般財源	
R7年度	0	214,105	67,207	67,207	281,312	15,379	7.6
R6年度	0	183,976	△ 57,408		126,568	16,347	7.7
R5年度	27,523	170,522	△ 52,343		145,702	10,649	7.6

事業番号	10 02 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☒ 補正予算案	☐ 点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
1	林業就業者確保・育成事業		98,046 千円	77,589 千円	予算現額 うち今回 補正額 125,427 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	森林整備担い手育成確保総合対策事業	直接 補助金	・新規林業就業者確保のための共同就職説明会の開催等 ・林業労働力確保支援センターに対する補助 共同就職説明会：2回、信州就林セミナー：2回		
2	信州の森林で働く人材確保推進事業	補助金	・県外からの移住により林業に就業する者への移住経費の支援 ・他産業から林業に転職する者及び新卒者への就業準備経費の支援 移住支援：22人、林業キャリアスタート支援：60人		
3	林業労働力緊急確保対策事業	補助金	・林業事業体の新規就業者（短期雇用含む）に対する奨励金の給付 ・林業に就業する前の準備講座の開催、資格取得に対する補助等 新規雇用者数：45人、林業新規就業講座：2回		
4	林業労働力活用促進対策事業	補助金	・地域を超えて労働力を移動する場合の機械運搬や通勤費に対する補助 ・林業団体による専門家派遣や森林経営計画策定等の研修会に対する補助 マッチング箇所：10箇所、研修会：5回		
5	多様な林業の担い手確保育成事業	直接 委託 補助金	・中学校における職場体験事例調査、教材制作及びイベントの開催等 ・装備品や特殊健康診断等の職場環境の改善を図る事業者に対する補助 ・創業等に必要な初期投資に対する補助 中学校における体験支援：4校、林業創業支援：5事業体		
6	林業就労条件整備促進事業	補助金	・林業事業体が就労条件改善して実施する、退職手当掛金、蜂アレルギー検査、エピネフリン注射器購入費用等の経費に対する補助 退職金共済掛金：779名分、蜂アレルギー検査：294名分		
7	林業労働災害防止対策事業	直接 補助金	・安全衛生指導員による林業事業体に対する安全巡回指導 ・伐木チャンピオンシップ大会の開催 安全巡回指導：20回、労働安全衛生対策セミナー等：3回		
8	林業士等養成事業	直接	・森林・林業セミナーの開催、林業士入門講座の開催 ・林業士を認定するための認定審査委員会の開催 森林・林業セミナー参加者：20人、林業士入門講座参加者：10人		
9	木曽谷・伊那谷フォレストバレー形成事業	直接 委託 補助金	・木曽谷・伊那谷運営協議会の運営、関係機関の連携促進 ・メインプロジェクト・関連プロジェクトの実施 プロジェクト実施数 10プロジェクト		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
2	森林組合等活性化対策事業		18,166 千円	14,962 千円	予算現額 30,378 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	森林組合等活性化対策事業	直接	・森林組合法に基づく常例検査の実施 ・生産森林組合・入会林野の管理・経営改善のための指導・助言 全面検査数：12組合（うち会計士同行6組合）、部分検査数：6組合		
2	持続的な林業経営の確立支援事業	直接 委託	・安全技術、林業技術の学び直しの集合研修の実施 ・事業体ごとの課題にあわせた個別研修の実施 ・林業ロールモデルの作成普及 集合研修：2回、個別研修：8回		
3	スマート林業構築普及事業	直接 委託 補助金	・スマート林業を実践するために必要な機器等の導入に対する補助 ・スマート林業を実践する人材の育成 ・主伐・再造林を推進する先端林業技術のモデル公募・実証 支援事業体予定数：8事業体		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
3	林業事業体支援事業		29,490 千円	34,017 千円	予算現額 125,507 うち今回 67,207 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業・木材産業改善資金貸付金	貸付金	・林業、木材産業に携わる事業者等が、設備等の導入にあたって必要となる資金を融資 県から事業体への貸付件数：5件		
2	林業就業促進資金貸付金	貸付金	・林業就業者確保のために、（一財）長野県林業労働財団を通じて就業準備及び研修参加に必要な資金を融資 労働財団から就業者への貸付件数：1件		